

令和5年7月18日

北海道大学大学院水産科学研究院（育種生物学分野）  
における教員（教授）の公募について

北海道大学大学院水産科学研究院では、下記の要領により教員（教授）を公募します。

1. 公募人員：教授 1名 常勤（任期なし）
2. 所 属：大学院水産科学研究院 海洋応用生命科学部門 育種生物学分野
3. 専門分野：  
育種生物学（特に、遺伝学的、発生生物学的手法による水圏動物の育種とそれに関連する研究及びその水産養殖への応用）
4. 職務内容：  
大学院水産科学院及び水産学部（全学教育を含む）に係る教育・研究に従事するとともに、大学院水産科学研究院、大学院水産科学院及び水産学部の運営等に従事
5. 主な担当授業科目：  
大学院水産科学院：育種生物学特論とそれに関連する科目（講義、特別実験、演習等）  
水産学部：増殖生命科学科の科目（講義、実験、演習、実習等）  
全学教育科目：水産科学に関連する全学教育科目
6. 応募資格：
  - （1）博士の学位を有すること
  - （2）専門分野に関し顕著な研究業績を有すること
  - （3）大学院水産科学院及び水産学部において授業を担当できること
  - （4）教育・研究及び大学院水産科学研究院の運営等に積極的に取り組めること
  - （5）業務遂行に支障のないレベルの日本語及び英語の能力があること
7. 採用予定日：令和6年4月1日
8. 試用期間：あり（3ヶ月）
9. 給 与：本学給与規程による
10. 勤務形態：専門業務型裁量労働制を適用（1日に7時間45分労働したものとみなす）
11. 健康保険等：文部科学省共済組合、厚生年金、労災保険、雇用保険加入
12. 募集者の名称：国立大学法人 北海道大学
13. 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙
14. 応募書類（各1部）
  - （1）履歴書（書式任意、ただし氏名、生年月日、現住所、連絡先、顔写真、高等学校卒業からの学歴、職歴、受賞歴、学位名、学位取得機関、学位取得年月と学位論文題名を記載すること）
  - （2）研究業績一覧：原著論文（審査制の有無に応じて区別すること）、著書、総説、特許、シンポジウム等における発表（基調講演・招待講演には末尾に＊を付すこと）、その他、の項目に分けて記載すること

- (3) 主たる研究内容の解説 (2,000 字以内)
- (4) 教育・研究及び大学の運営に関する抱負 (2,000 字程度) (なお大学等での教育経験がある場合は講義, 実験, 実習等の担当歴, 大学院生の研究指導歴, 社会における教育普及活動等を記載した教育業績一覧を抱負書に添えること)
- (5) その他の業績一覧 (大学, 学会, 社会における活動, 研究費取得歴, その他特記すべき事項)
- (6) 研究業績別刷 (pdf 形式のファイルを CDR または DVD に収めて提出すること)
- (7) 応募者について照会できる方 2 名の氏名, 職名及び連絡先

1 5. 応募期限: 令和 5 年 9 月 2 2 日 (金) 午後 5 時 必着

1 6. 応募書類提出先:

〒041-8611 北海道函館市港町 3 丁目 1 - 1

北海道大学 大学院水産科学研究院 人事選考委員会 委員長 岸村栄毅

\*封筒表面に「教員応募 (育種生物学分野教授)」と朱書きし, 簡易書留で郵送してください。応募書類は返却しません。なお, 応募書類に含まれる個人情報, 選考目的以外には使用しません

\*人事選考委員会による応募者の面接及び追加書類の提出を求める場合があります。ただし, 面接に要する旅費は支給しません。なお, 面接はオンラインで実施する可能性もあります

1 7. 結果通知方法

メールにて連絡

1 8. 問い合わせ先:

〒041-8611 北海道函館市港町 3 丁目 1 - 1

北海道大学 大学院水産科学研究院 教授 岸村栄毅

電話番号: 0138-40-5519

\*メールアドレス: i-dulse AT fish.hokudai.ac.jp (メール送付時には AT を@に置き換えてください)

\*本研究院に関する詳細はホームページ<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/>をご覧ください

1 9. その他:

(1) 当該分野は以下の教員から構成されています (令和 5 年 7 月 1 日現在)

教授: 水田浩之, 准教授: 藤本貴史, 助教: 宇治利樹, 西村俊哉

(2) 本公募で採用された教員は, 関係教職員と連携して次の業務にも従事していただきます

a) 水産科学分野における育種生物学の位置づけを踏まえた, 教育・研究体制の将来的検討 (これについて意見があれば, 提出書類「教育・研究及び大学の運営に関する抱負」に記載すること)

b) 本研究院で遂行されている産学官連携プロジェクトへの参画及び将来構想の検討